

保護者アンケートへのご意見について

たくさんのご意見ありがとうございました。お子さんの成長を感じていただいたり、子どもたちの意見や考えを大切にしながら保育を進めていることについて認めてくださったりするご意見がおおく、職員も胸をなで下ろしているところです。

お褒めの言葉におごることなくさらに、よりよい保育を目指していくために、今回はご提言をいただいたご意見に対して改善策や、園としての立場の説明をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

① テレビやインターネットの利用について

少し気になったのは、テレビをみたり、iPadを使用したり?まだ幼児期は体の発達段階にあると思うので、その辺りは避けて頂けたらと思いました。よろしくお願いいたします。

テレビは家でも見れるのでテレビをみせる時間を減らしてほしい。

YouTubeみせる時間を減らしてくれるといいなと思いました。

ご意見ありがとうございます。まず、現在の主な利用状況について説明いたします。

・給食後、職員が個に応じて食べ終わるのが遅くなっている子の支援をしたり、給食の片付けや保育室やランチルームの掃除をしたりしている間の10分程度、乳児や幼児組の一部の子たちが視聴しています。

・おやつ後も同様に、つくし組、すみれ組、ゆり組の子どもたちが10分～15分程度視聴しています。

・17時15分過ぎから、そのときに在園している子どもたちの人数によって20分～30分視聴しています。

※この3場面に共通しているのは、職員が一部の子の支援を重点的にしていたり、食後の片付けや部屋の掃除、使った用具の消毒作業(感染症予防のためどうしてもこのタイミングで作業する必要があります)をしているため、**子どもたち全体を見守る職員が一時的に手薄になること**です。過去には、このタイミングでの子ども同士のトラブルや事故も多く見られました。テレビの視聴を取り入れることで、**少ない職員数での見守りでも、事故等がほとんどなくなり、トイレ指導なども手厚くできるようになったのも事実**です。

次に、どのような番組を視聴しているかを説明します。

・季節の歌、体操、絵本の読み聞かせ など、保育士や保育関係者などが作成した番組やYouTube

・トムとジェリー、アンパンマン、しまじろうなど 無料で公開されているアニメなどの番組やYouTube

・英語活動で利用した、英語の歌やアニメに関わる番組やYouTube

※その場に集まった子どもたちのリクエストなども聞きながら、見守り担当の職員が機器を操作します。他の職員の作業が終わり次第、途中でも視聴をやめて移動するようにしています。

このほかに、たんぼぼ組や、ゆり組などは、保育の中で子どもたちが持った「疑問」や「興味」などに迫る手段として、絵本や、人への取材とともに、保育教諭の支援の下でiPadを使用したりインターネットでの検索をしたりすることもあります。これは不定期的です。

なお、iPadは伊豆市から子どもたちが使用するように園に1台貸与されています。(小学校1年生からは、子ども一人1台の貸与になり、授業でこのようなICTを活用しなくてはならないことが、国でも示されています。)市としては、家庭環境にかかわらずどの子どもにもICT活用に向けての簡単な経験を重ねること期待しているでしょう。

以上のことから、テレビ視聴やICTの利用について全面的にやめるのが難しい現状です。**視聴する時間や、内容については今後も検討を進めていきたい**と考えておりますのでご理解下さい。

もちろん、子どもたちにとって最も大事な直接体験する保育や、実際の物や生き物に触れる活動はこれからも大切にしていきたいです。むしろ直接体験や現物に触れながら経験や考えを広げる保育は、本園が他園に誇れるところであると自負しています。

② 親子遠足、天気関係なくいける場所か雨天なら別の場所で行くところがあるといい。

ご意見ありがとうございます。新型コロナウイルス感染症予防の観点から、ここ数年は屋内施設の利用をしない方向で計画していましたが、来年度以降は天候にかかわらず実施できる施設を対象に場所の決定をしていきたいと考えています。

③ 父の日・母の日・敬老の日の扱いについて

提案させて頂きたいことがあります。それは、父の日、母の日の在り方です。毎年家族の多様化に伴って、取り組みはありませんが、敬老の日は存在することに違和感を感じています。それこそ多様化のため、感謝を伝えるタイミングは、多くてもいいんじゃないかと感じています。敬老の日同様、多様化にあった表現方法があれば、すごく嬉しいです。先生方もご多忙のため、無理に、とは感じておりません。ご検討頂ければ幸いです。

ご意見ありがとうございます。確かに、感謝を伝えるタイミングは多くてもいいですし、父の日・母の日に向けた創作活動を取り入れることは多くの負担になるわけではありません。しかし、家族のあり方の多様性につきましては、十分配慮すべき事項あり今後もそのような傾向は広がると思われます。このような理由から小学校でさえもかなり前から見直しをしているところです。(小さな子どもにとっては、大人ほど家族の多様性を素直に受け入れられず、悲しい思いだけが残る場合もあるので)

その中で、本園が敬老の日だけに取り組んでいるのは、**敬老の日をきっかけに家族への感謝について考える場を子どもたちに用意した**からです。本年度の取り組みがわかりにくかったかも知れませんが、**敬老の日**に作成した感謝のはがきは、**おじいちゃんおばあちゃん限定ではなく、お父さんでもお母さんでも家族の誰でも良いという投げかけを子どもたちにはしてあります。その中で、子どもたちは自分が伝えたいと思った家族宛の手紙を作成した**のです。この方法なら、「出す人がいない」と悲しむ子どもなく取り組むことができると考えたからです。

いずれにしても、園での活動はあくまできっかけの一つです。園で足りない部分は、ご家庭で、「おばあちゃんだけでなく、家族の誰かにも書いてあげたら」などと膨らめていただくことさらに効果的であると考えます。

④ お子さんのメンタルケアについて

大きな出来事(救急車が来るなど)園児にしては怖い思いをした時など、教員と保護者で子どものメンタルを共有し守ってあげればよいと思う。

ご意見ありがとうございます。一緒に遊んでいた友だちの体調が大きく崩れたり、大きなけがをしたりして救急車を呼ぶなどする様子を間近で見ると子どもたちにとってトラウマにもなりかねない大事であります。今後このようなことが起きないように、次のことにつきまして職員と再確認したところです。

- ・人命第一であることを考え、**当事者である子の保護を最優先**に職員が連携して対応する
- ・当事者以外の子どもはショックを受けないように、視野を移すため素早く場所を移動させて、別の場所で保育を進める
- ・刺激のある状況を目撃してしまった子どもには、その日のうちに**個別に十分ケアをする**と共に、**プライバシーの保護に配慮しながら保護者にも説明し情報共有を図る**
- ・事後の様子などについては、**プライバシー保護に十分配慮しながら見守ったり情報共有したりしていく**

⑤ 運動会で負けた方の頑張りを重視しすぎていたのでは

ご意見ありがとうございます。決して「勝っても喜んじゃいけないよ」とは助言していないのですが、喜びの表現の仕方が控えめだったようです。

ただ、保育の中心はやはり、「負けて悔しい方の子ども」への援助になります。そういう点では、本園職員は保育のプロとして意識が高かったといえると思います。喜びを表現できるかどうかは、個人差にもよりますが、勝てば誰でもうれしいものです。それに対して負けたときに、**「悔しいから次に頑張る」と思えるようになるには支援が必要**です。そういう考え方ができるように、幼児のうちにしっかりと援助することが重要です。**自己肯定感を高め、非認知能力を育てるという保育**です。

保育の研修会でも、「勝ちにこだわる保育は、ともすれば排他的な考え方を育てることにつながる」から気をつけなさいといけないとよくいわれるところです。

⑥ 運動会や発表会で、1~2歳も何かやってほしい

運動会ばい何かを室内でいいので1歳2歳でもやって欲しかった。

1歳2歳にも発表会的に近いものやって欲しかった

ご意見ありがとうございます。確かに、県内には1~2歳児でも日を変えるなどして運動会や発表会的な内容の参観を実施している園もあります。本園も、4年ほど前までは2歳児が発表会などに参加していました。しかし、実際には、この年齢ですと、**演技以前の問題として、並んだり、待ったりするのが難しい**ものです。ましてや、普段は保育の最中には見えないご両親が目の前にいればなおさらです。

いくらできばえを気にしないでやろうとしても、泣いたり跳び回ったりと不安定になる子どもたちに、プログラムの中で時間を決めて競技や演技をさせるのは、あまり「教育的」とはいえませんが、「**人見知り**」も残るこの時期の子どもたちに、**あえて多く人の前で決められた内容を表現させるのは保育の内容としても不適切**といえるでしょう。それは避けたいと考えています。

とはいえ、保護者の皆様のご期待にも添いたいと思い、年齢ごとに保育参観の場などで親子で活動できる内容として無理のない程度に入れていくことを考えています。

⑦ 発表会の持ち物など、紙でいただいておりますが、アプリの方でもお知らせいただけるとありがたいです。

ご意見ありがとうございます。来年度はアプリでも流すようにいたします。

⑧ 発表会で扱う演目やモチーフになる絵本を事前に教えてほしい

発表会でやる演目を当日の前々日位に知り、もしかしら楽しみをとっておいたのかな、なんて思いましたが、後から思い返すと自宅にはない絵本の内容だったので、事前に教えて頂けたらお家でも借りたり購入したりして、自宅でも練習ができなかったかななんて思いました。(幼稚園での出来事をなかなか話さない息子なので特に気になってしまいました)

ご意見ありがとうございます。来年度は、内容が固まり次第「絵本」の紹介ができるようにしていきます。

⑨ 緊張すぎて笑顔がなかった。親も観ているだけでなく、少し参加型にすれば園児の緊張も和らぐのではないか。

ご意見ありがとうございます。お子さんの緊張感が伝わる近さでの参観を用意することができて開催する側としてはほっとしているのですが、親御さんとしては気をもむ場面もあったのですね。

親子参加型の内容を、限られた会場の広さや時間で組むことはかなり難しいと思いますし、練習も難しくなると考えます。ただ、運動会の種目でなら可能かと思えます。

⑩ 参観の仕方について

年中さんの発表の時間、階段で待っていた年長さんの親のおしゃべりはいただけない。いっその事、総入れ替えにして、遊戯室か何かで待たせて貰えたら、その方が良かった。

運動会や発表会で、園からの参観の仕方をお願いを破って参観している方がいた。

ご意見ありがとうございます。皆さんが気持ちよく参観できるように、お互いに約束を守っていただくとうれしいです。園としましては、参観されるすべての皆様が安心して気持ちよく子どもたちの活躍を楽しめるよう、最低限のお約束をこれからも皆様にお願ひしていく予定です。

⑪ この欄が(スマホでは)物理的に書きにくいです。

ご意見ありがとうございます。園が契約しているアンケートソフトの仕様ですので直ぐに改善できそうにありません。申し訳ありません。どうしても書きにくいようでしたら、自由記述の文章は別に紙に記入して担任へ渡していただければ、こちらへ転記させていただきます。

⑫ 散歩の様子、外出先での様子写真に残せる範囲で思い出があると嬉しいです。

ご意見ありがとうございます。保育中の子どもたちの様子を保護者の皆様にご紹介できるようにそれぞれのクラスで取り組んでいるところではありますが、とくに乳児組の子どもたちの動きは、予想ができないことも多いものです。ある程度動きが落ち着いてくる幼児組では、カメラで写真を撮るタイミングも取りやすいのですが、衝動的な動きが激しい乳児組の子どもたちでは、写真を撮るために目を離した際に、けんかや事故が起きることも多いのです。特に、散歩や園舎外へ出た際の保育中は、危険防止のために職員は分担し合ってすべての**子どもの安全確認を最優先**しています。そういうわけで、幼児組に比べて、どうしても写真の枚数が少なくなってしまうのです。ご理解ください。

以下のご意見は、お子さんの成長や、保育者の援助の仕方について認めてくださったご意見です。一つ一つのご意見に園からの回答は控えませんが、職員一同ご意見から元気をもらいました。ありがとうございました。これからも、子どもたちが主体的に活動できるように保育の質の向上を研修していきたいと考えています。

ちゅうりっぷ	<p>1歳児クラスの娘ですが、保育園のおかげでいろいろな言葉を覚えてきて、特に敬語がしゃべられるようになり、成長にビックリしています。</p> <p>一人っ子のため、家では体験できない集団生活を体験させてもらえることで、お友達との関わり方、コミュニケーションの仕方を学ぶことができ、お友達と仲良く一緒に協力することなどを覚えてきて、とてもありがたく思っています。</p> <p>先生方が娘をかわいがってくれていることがちゃんと本人にも伝わっているため、娘も保育園が大好きです。いつも愛情いっぱいの保育を、本当にありがとうございます。</p> <p>保育士の先生方が愛情をもって子供に接してくださっているのがよく伝わるので、とてもありがたく思っています。</p>
つくし	<p>子供の事を第一に考え、色々提案をしていただいています。いつもありがとうございます。</p>
すみれ	<p>いつも子供達の声を聞いてそこから運動会や発表会の出し物を提案してくれたり、子供に寄り添ってくれていると感じます。</p>
ゆり	<p>常に子の意見を優先にし、話し合い、準備や制作などをしていて感謝につきます。毎日の写真付きの今日の活動報告も素晴らしい試みで、楽しく成長をみさせて頂いています。ありがとうございます。</p> <p>サポートがいる様子はまだまだ、ありますが、先生方が親身になって支えて下さって、本当に感謝しております。</p> <p>子ども・保護者に寄り添っていただき、いつも感謝しています。</p> <p>いつも素敵な保育をありがとうございます。安心して預けられるのは先生方のお陰です。利用させて頂き、もう長いです。</p> <p>いつも優しく見守っていただき、たくさん褒めていただきありがとうございます。</p>
たんぽぽ	<p>常に子どもの気持ちを尊重し笑顔で接してくれる先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。あと残りわずかですがよろしくお祈りします。</p> <p>コロナ対応の件もありがとうございました。”後から思えば”ということなのですが、2人(の子ども)が置かれた環境の違いを見ると、大人の雰囲気、人との交流、先生やお友達の顔が見えること…など、子どもに結構影響があったんだと感じました。なので、なおさらマスクは個人の判断でとなった直後にマスクを外す先生がいてくださったり、イベントや外部講師の方を招いたり、できる限りの企画をこの1年してくださって、ありがたいと思いました。これからも親子共々よろしくお祈りします。</p> <p>子供に寄り添った保育をしてくれて、とても安心して仕事へ行けています。すごく感謝しています。</p> <p>いつもこどもに寄り添い優しく保育してくれる先生方に感謝しています。</p> <p>アマゴを放流して塩焼きを食べたり、野菜を育てたり、1年を通じて楽しそうでした。ありがとうございます。</p>